


2024年年会 サテライトプログラム一覧（詳細は2ページ以降）

No	会場	時間	プログラム名、主催団体、担当者、連絡先
01	B	9:30~12:00 (9:00受付開始)	第2回 テクノカフェ「陶磁器×サーキュラーエコノミー」 ●主催団体：九州環境セラミックス研究会 ●担当者：稲田 幹（九州大学） ●連絡先：inada.miki.300@m.kyushu-u.ac.jp
02	F	9:00~12:00	第18回MFD研究会 ●主催団体：日本セラミックス協会マテリアル・アプリケーション&プロセス・デザイン研究会 ●担当者：林 大和（東北大学大学院工学研究科） ●連絡先：yamato.hayashi.b6@tohoku.ac.jp
03	G	10:00~11:45	第4回 超セラミックス 研究講演会 ●主催団体：科学研究費助成事業 学術変革領域研究(A)「超セラミックス」 総括班 ●担当者：桑原 彰秀（ファインセラミックスセンター） ●連絡先：kuwabara@jfcc.or.jp
04	J	9:00~12:05	第7回 バイオ関連材料デザイン研究会 ●主催団体：バイオ関連材料デザイン研究会, 日本バイオマテリアル学会関西ブロック 第19回若手研究発表会準備委員会 ●担当者：林 幸吉朗（九州大学） 足立 哲也（京都府立医科大学大学院医学研究科） ●連絡先：biorelated.materials@gmail.com
05	K	10:00~12:00	バルクセラミックスの信頼性に関する基盤技術研究講演会 ●主催団体：バルクセラミックスの信頼性に関する基盤技術研究会 ●担当者：田中 諭（長岡技術科学大学） ●連絡先：stanaka@vos.nagaokaut.ac.jp

第2回 テクノカフェ「陶磁器×サーキュラーエコノミー」

Pottery × Circular Economy

時間	9:30～12:00(9:00 受付開始)	
主催団体名	九州環境セラミックス研究会	
開催内容	<p>脱炭素, カーボンニュートラルが求められる現在, セラミックスの中でも陶磁器はどのように取り組んだらいいのでしょうか. 本サテライトは, 陶磁器を資源循環の流れに取り込むための課題やその解決策について一緒に考えるための勉強会です. 2回目となる今回は, 韓国セラミック技術院 勝木宏昭氏, 福岡県工業技術センター 阪本尚孝氏に加え, 産業界より1名(調整中)の講師を迎え, 韓国陶磁器産業の背景と課題、未利用素材を活用した低温焼成陶器開発の取り組み、陶磁器製造現場におけるSDGsの取り組みについてお話いただきます. 陶磁器初心者でも参加しやすいテクノカフェ風に進行します. みなさま奮ってご参加ください.</p> 	
参加対象者	どなたでもご参加いただけます. ※本プログラムのほか, 年会に参加される方は, 年会の参加登録が必要です.	
参加費	無料	
予定参加者数	30名程度	
参加方法	参加希望者は氏名・所属・連絡先・懇親会の参加有無を下記の連絡担当者へ E-mail で事前にご連絡ください. なお, 当日参加も可能です.	
交流会	3月14日(木)18:00(数千円程度)	
連絡先	担当者	稲田 幹(九州大学)
	電話	092-583-7149
	メール	Inada.miki.300@m.kyushu-u.ac.jp

第 18 回 MFD 研究会

The 18th Workshop on Material and Fabrication and Production Designs Study Group

時間	9:00～12:00	
主催団体名	日本セラミックス協会マテリアル・ファブ리케이션&プロダクション・デザイン研究会	
開催内容	<p>『材料合成におけるソノケミカルプロセス最前線』 プロセッシングはもの造りの本質であり、材料設計はプロセッシングの最適化によって初めて実現が可能になります。 本研究会では、1D 原子から 3D バルクまで無機・有機・金属に跨がるあらゆる材料において、様々な構造・組織・形態・造形・機能の構築のためのプロセッシングに立脚した、多種多様な新材料創製のための議論・討論を目的としています。今回はサステナブルな材料合成に有用な超音波材料合成、ソノケミカル効果に関する講演を予定しております。奮ってご参加下さい。</p> <p>『メガヘルツ超音波の応用展開—材料合成と霧化分離』二井 晋(鹿児島大学)</p> <p>『ポリマー材料の粘弾性特性に与える超音波効果のその場観察』野口 サララ(熊本県産業技術センター)</p> <p>『サステナブル材料合成への超音波プロセッシングの応用』林 大和(東北大学)</p>	
参加対象者	どなたでもご参加いただけます。 ※本プログラムのほか、年会に参加される方は、年会の参加登録が必要です。	
参加費	1000 円を当日会場にてお支払いください。(詳細はお問合せ下さい)	
予定参加者数	30 名程度	
参加方法	参加希望者は氏名・所属・連絡先・交流会の参加有無を下記の連絡担当者へ事前にメールでご連絡ください。なお、当日参加も可能です。	
交流会	例)3 月 14 日(木)18:00 (会費制・当日清算・数千円程度)	
備考	協賛:化学工学会ソノプロセス分科会(予定)	
連絡先	担当者	林 大和(東北大学大学院工学研究科)
	電話	022-795-7226
	メール	yamato.hayashi.b6@tohoku.ac.jp

第4回 超セラミックス 研究講演会

The 4th Workshop on Supra-Ceramics

時間	10:00～11:45	
主催団体名	科学研究費助成事業 学術変革領域研究(A)「超セラミックス」総括班	
開催内容	<p>学術変革領域研究(A)「超セラミックス」では、無機固体材料に分子性のユニット(分子イオン, 錯体, クラスター等)を組み込んだ物質群を「超セラミックス」と定義し、革新的な物性・機能を有する新材料を創製し材料科学の学術体系の変革を目指しています。この研究講演会は、同領域に参画する研究者から超セラミックスの設計, 合成, 構造解析, 新物性開拓などのトピックについて、大学や公的研究機関から企業の研究者、さらには学生の方々に広く紹介することを目的に開催いたします。</p> <p>【講演者(敬称略)】 「超セラミックスが示す分子形成・解離の相転移」 野原実(広島大学) 「超高速分光を用いたセラミックス材料の動的過程の研究」 恩田健(九州大学) 「分子性金属酸化物(ポリオキシメタレート)ユニットを用いた超セラミックス合成」 定金正洋(広島大学)</p>	
参加対象者	どなたでもご参加いただけます。	
参加費	無料 ※本プログラムのほか、年会に参加される方は、年会の参加登録が必要です。	
予定参加者数	30名程度	
参加方法	参加希望者は氏名・所属・連絡先を下記の連絡担当者へ事前にメールでご連絡ください。なお、当日参加も可能です。	
備考		
連絡先	担当者	桑原彰秀(ファインセラミックスセンター ナノ構造研究所)
	電話	052-889-1666 (内線 422)
	メール	kuwabara@jfcc.or.jp

第7回バイオ関連材料デザイン研究会

7th Workshop of Designing Novel Bio-related Materials

時間	9:00～12:05	
主催団体名	バイオ関連材料デザイン研究会, 日本バイオマテリアル学会関西ブロック第19回若手研究発表会準備委員会	
開催内容	<p>生体関連材料分野にかかわる, 若手研究者や技術者の視点から次世代バイオ材料の創出と開拓, さらにには応用先までを見据えたバイオ関連材料の医用価値の創出に焦点を当てて, 研究状況, 成果報告, 新規材料・技術の提案, 問題提起などに関する討論及び情報交換を行います。講演の最後には, 参加者全員での総合討論を行い, 生体関連材料の将来構想について広く意見を集めたいと思います。奮ってご参加ください。</p> <p>【依頼講演】(敬称略)</p> <p>九州歯科大学 池田 弘准教授「力学的生体適合性に優れたポリマー含浸セラミックスの開発と歯科材料への応用(仮)」</p> <p>福岡歯科大学 梶本 昇 講師「解体性接着の歯科用セメントへの応用(仮)」</p> <p>九州歯科大学 鷲尾 絢子 准教授「Bioactive glassによるリバーストランスレーショナルリサーチ」</p> <p>東京歯科大学 高橋 有希 講師「難治性骨疾患の基礎・臨床」</p> <p>京都府立医科大学 山本 健太 助教「骨芽細胞のダイレクトプログラミング」</p>	
参加対象者	<p>どなたでもご参加いただけます。</p> <p>※本プログラムのほか, 年会に参加される方は, 年会の参加登録が必要です。</p>	
参加費	無料	
予定参加者数	40名程度	
参加方法	<p>参加希望者は氏名・所属・連絡先・交流会の参加有無を下記の連絡担当者へ2/29(木)までにメールでご連絡ください。なお, 当日参加も可能です。</p>	
交流会	<p>3月14日(木)18:00(会費制・当日清算・5千円程度)</p> <p>参加希望の方は、<u>2/29(木)までに下記連絡先メールまで申請</u>ください。</p>	
備考		
連絡先	担当者	林 幸壱朗(九州大学大学院歯学研究院) 足立 哲也(京都府立医科大学大学院医学研究科)
	電話	092-642-6345 (内線 6345)(林)
	メール	biorelated.materials@gmail.com

バルクセラミックスの信頼性に関する 基盤技術研究講演会

Research lecture on basic technology related to reliability of bulk ceramics

時間	10:00～12:00	
主催団体名	バルクセラミックスの信頼性に関する基盤技術研究会	
開催内容	<p>種々の機能を有するバルクセラミックスの多くは原料粉体から成形や焼結の多段階工程を経て製造されます。そして、特性や信頼性はこのプロセスの制御によって大きく支配されます。現在、この製造プロセスをデータ駆動によるプロセスインフォマティクスの取組みも行われています。この推進には、共通基盤となる粉体から焼結体の製造段階と、その機能や信頼性との関係を理解し、制御することが重要です。本講演会では、以下の講演をご用意しました。奮ってご参加ください。</p> <p>講演者(予定)(敬称略) 講演質疑含めて約40分程度</p> <p>1 共焦点レーザー蛍光顕微鏡によるセラミックス多孔体の高解像度3次元観察 ○植松昌子 (JFCC)</p> <p>2 窒化ケイ素セラミックスの高性能化および製造プロセスおよび物性評価へのDX技術の融合 ○福島学・中島佑樹・古嶋亮一・周游・平尾喜代司・大司達樹 (産業技術総合研究所)</p> <p>3 セラミックスのパウダープロセッシングの評価の標準化に関する最近の取り組み ○田中諭 (長岡技術科学大学)</p> <p>*内容は変更することがあります</p>	
参加対象者	<p>どなたでもご参加いただけます。</p> <p>※本プログラムのほか、年会に参加される方は、年会の参加登録が必要です。</p>	
参加費	無料	
予定参加者数	30名程度	
参加方法	<p>参加希望者は氏名・所属・連絡先・交流会の参加有無を下記の連絡担当者へ事前にメールでご連絡ください。なお、当日参加も可能です。</p>	
交流会	<p>予定しています。詳細は当日までにご案内します。</p>	
連絡先	担当者	田中 諭(長岡技術科学大学)
	電話	0258-47-9337
	メール	stanaka@vos.nagaokaut.ac.jp